

# 第 63 回数理社会学会大会 (JAMS63) プログラム

日時：2017 年 3 月 14 日 (火) ～3 月 15 日 (水)

会場：関西大学 千里山キャンパス

大会委員長：保田時男 (関西大学)

## 1 参加費、懇親会費 (セミナーおよびシンポジウムの参加は無料)

大会参加費	一般 (会員)	4,000 円	学生・院生 (会員)	1,000 円
	一般 (非会員)	5,000 円	学生・院生 (非会員)	1,500 円
懇親会費	一般	6,000 円	学生・院生	2,000 円

## 2 主なスケジュール

	時間	第 3 学舎 A201	第 3 学舎 A202	その他
3 月 14 日	10:20～12:00	第 1 部会	第 2 部会	
	12:10～13:10	編集委員会ワークショップ		昼食休憩
	13:20～14:40			萌芽的セッション第 1 部 (第 3 学舎 A204+2 階ロビー)
	14:55～16:25	シンポジウム		
	16:40～17:40	総会		
	17:55～19:30			懇親会 (レストラン「チルコロ」)
3 月 15 日	09:40～11:00			萌芽的セッション第 2 部 (第 3 学舎 A204+2 階ロビー)
	11:10～12:25	第 3 部会	第 4 部会	

## 3 主な会場 (関西大学千里山キャンパス 第 3 学舎)

- ・受付：第 3 学舎 2 階 エレベーターホール
- ・会員控室・抜き刷り交換コーナー：第 3 学舎 A205

## 4 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます (Windows8.1, Office2013)。持参パソコンの場合、VGA ケーブル接続の Windows ノートパソコンが使用可能です (ケーブルは会場で用意します)。その他の機器使用を希望する場合はご連絡ください。いずれの場合も持参の機器は、開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ・ファイルは当日持参してください (USB メモリ利用可)。
- ・配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・(司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

## 5 ポスター報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・1 日目のポスターは来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、懇親会の開始時間までには取り外してください。この時点で残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・2 日目のポスターは当日の 9 時 30 分までに貼りつけていただき、後ほど取り外してください (閉会後でも結構です)。閉会后 10 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・最大で A0 (縦 1189×横 841mm) のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ (いずれも開催校が用意) が使用可能です。
- ・部会開始 5 分前に集合してください。

## 6 問い合わせ先

**研究事務局** 〒981-3193 仙台市泉区天神沢 2-1-1

東北学院大学教養学部 神林博史

E-mail : jams.research[at]gmail.com, Tel:022-773-3712

**大会事務局** 〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学千里山キャンパス 保田時男（大会委員長）

E-mail : jams.meeting63[at]gmail.com, Tel : 06-6368-0723（研究室直通）

### 3月13日（月）

12：00～13：00 学会出版企画編集会議（第3学舎 A306）  
 13：00～15：00 編集委員会（第3学舎 A306）  
 13：00～15：00 研究活動委員会（第3学舎 A307）  
 15：30～17：30 ワンステップアップ・セミナー（第3学舎 A401(B)）  
 17：00～20：00 理事会（第3学舎 A306）

### 3月14日（火）

09:45 開場・受付 第3学舎2階エレベーターホール

10:15 開会挨拶 大会委員長 保田時男（関西大学） 第3学舎 A201

10:20～12:00 自由報告 I

【第1部会】数理モデルとその実証 第3学舎 A201  
 司会 石田淳（大阪経済大学）

1	戦略更新におけるリンクの重みの異質性が協力の進化に与える影響	○成田 洋平（筑波大学大学院） 岩田学（防衛省） 秋山英三（筑波大学）
2	Reconsidering Whether Women Are Less Selfish Than Men: Group Gender Composition Matters in Dictator Games	小川一仁（関西大学） 鈴木明宏（山形大学） 高橋広雅（広島市立大学） ○竹本亨（帝塚山大学）
3	Cooperation in Prisoner's Dilemma by Letting Bygones Be Bygones: An Inter-generational Experiment	○段杰一（大阪府立大学） 小林創（関西大学） 草川孝夫（高知工科大学） 西條辰義（高知工科大学） 七條達弘（大阪府立大学）
4	A Generative Model for Action and Hierarchical Bayes Estimation	浜田宏（東北大学）

【第2部会】社会階層・社会関係 第3学舎 A202  
 司会 高松里江（立命館大学）

1	地位へのマッチングからみる賃金格差の生成過程 —正規／非正規雇用を事例として—	麦山亮太（東京大学大学院）
2	未婚化の影響を考慮した学歴同類婚の趨勢 —多重代入法の応用による反実仮想的な分析—	打越文弥（東京大学大学院）
3	重要な他者は、社会関係資本か、相対的剥奪の根源か？ —精神的健康、主観的健康感、主観的幸福感を用いた検討—	○辻竜平（信州大学） 大信田友紀（信州大学） 古里由香里（信州大学）

\*\*\*\*昼食休憩（80分）\*\*\*\*

登壇者：

筒井淳也（立命館大学）

渡邊光（勁草書房），

オーガナイザ・司会：

大崎裕子（成蹊大学、『理論と方法』編集委員）

※昼食をとりつつ行いますので、参加希望の方は各自昼食をお持ちください。

## 13:20～14:40 萌芽的セッション（ポスター報告） I

## 第3学舎 A204+2階ロビー

1	Github 上のコミュニティにおける所有と貢献の関係がプロジェクトの活性化に与える影響	○新井健太（芝浦工業大学） 中井豊（芝浦工業大学）
2	ベルヌイ型意識分布生成モデルの構築に向けて	石田淳（大阪経済大学）
3	一般的信頼は主観的ウェル・ビーイングをどのように高めるか —媒介効果の検討—	大崎裕子（成蹊大学）
4	ソーシャル・サポートについての年齢・時代・世代効果 —ベイズ型コウホートモデルの適用—	○菅野剛（日本大学） 中村隆（統計数理研究所）
5	教室内活動に対する保護者の介入 —中国における座席編成を事例として—	金怡甜（東京大学大学院）
6	コミュニケーションと共感の社会学（2）	志田基与師（横浜国立大学）
7	調査現場における自由回答収集支援システムの構想 —アフターコーディング作業の効率化と精度向上に向けて—	高橋和子（敬愛大学）
8	ライフコースとパートタイム労働者の職業満足度 —ライフステージに基づいた非正規キャリアに注目して—	○田上皓大（上智大学大学院） 竹ノ下弘久（上智大学）
9	繰り返し囚人のジレンマにおける 復帰可能な退出戦略の状態遷移分析	○田口拓哉（芝浦工業大学） 武藤正義（芝浦工業大学）
10	職業別犯罪被害率の検討	○太郎丸博（京都大学） 谷口祐那（京都大学） 阪口祐介（桃山学院大学）
11	混合システムと事例選定の射程範囲	中澤香世（早稲田大学・名古屋大学大学院）
12	保育意識の国際比較分析 —ISSP2012 を用いたマルチレベル分析より—	○中西啓喜（早稲田大学） 福田紗耶香（九州大学大学院）
13	「規範」としての差別—排外意識高揚の説明の試み—	永吉希久子（東北大学）
14	複数の製造工程を要する製品の製造コストに関する シミュレーション	○藤田旭洋（東京大学大学院） 柳澤大地（東京大学） 西成活裕（東京大学）
15	CAPI 型調査における回答時間データの基礎分析	○前田忠彦（統計数理研究所） 稲垣佑典（統計数理研究所）
16	職業別の男女比はどのように変化するのか —理容師・美容師を事例として—	森田厚（成蹊大学大学院）

17	青少年の避妊の実行の規定要因と時代変化 — 青少年の性行動全国調査の分析 —	俣野美咲（武蔵大学大学院）
18	退出過程における強引なエージェントの識別方法	○柳澤大地（東京大学） 山崎啓介（産業技術総合研究所）

\*\*\*\*休憩（15 分）\*\*\*\*

14：55～16：25 シンポジウム「21 世紀の社会学が解くべき問題」

第 3 学舎 A201

登壇者：

落合仁司（同志社大学）

大浦宏邦（帝京大学）

橋本努（北海道大学）

武藤正義（芝浦工業大学）

永吉希久子（東北大学）

オーガナイザ・司会：

小林盾（成蹊大学、『理論と方法』編集長）

七條達弘（大阪府立大学、『理論と方法』編集委員）

\*本シンポジウムは、科学研究費補助金基盤研究（A）「少子化社会におけるライフコース変動の実証的解明」（研究代表者：小林盾）との共催です。

\*\*\*\*休憩（15 分）\*\*\*\*

16：40～17：40 総会

第 3 学舎 A201

\*\*\*\*休憩・移動（15 分）\*\*\*\*

17：55～19：30 懇親会

レストラン・チルコロ（新関大会館南棟 4F）

3月15日(水)

09:10 開場・受付

第3学舎2階エレベーターホール

9:40～11:00 萌芽的セッション(ポスター報告)Ⅱ

第3学舎A204+2階ロビー

1	誰がエシカル消費を嫌うのか—ISSPデータによる分析—	朝岡誠(立教大学)
2	Steamのフレンド機能を介した購買行動の伝播に関する ユーザーネットワークからの分析	○雨宮俊貴(芝浦工業大学) 中井豊(芝浦工業大学)
3	Kickstarterにおける支援行動の要因分析	○大谷仁哉(芝浦工業大学) 中井豊(芝浦工業大学)
4	圏論と社会理論—自己組織性・言語ゲーム論・規範社会学—	大山智徳(日本郵便広島支店)
5	相対的剥奪の2つの相 —主観的幸福に対する剥奪感と剥奪状態の効果の比較—	神林博史(東北学院大学)
6	職業評定における全職業同一評定者の特徴	元治恵子(明星大学)
7	学校外教育が進学格差に与える影響 —傾向スコアを用いた分析—	○眞田英毅(東北大学) 永吉希久子(東北大学)
8	ミニマムゲームにおいて修正可能なチープトークの効果	七條達弘(大阪府立大学) 小川一仁(関西大学) ○禿寿(大阪府立大学)
9	大卒者の再入学と職業キャリアに関する基礎分析	高松里江(立命館大学)
10	選好の変動が就業行動に与える影響	田中茜(東北大学大学院)
11	嫌中・嫌韓の関連要因と担い手の変化—2009年と2013年の比較—	田辺俊介(早稲田大学)
12	出身大学の学校歴と専攻分野が初職に与える影響	豊永耕平(東京大学大学院)
13	大卒新卒者の就職活動の長期化とその影響について	松尾寛子(京都大学)
14	異なる情報を持つ人々による群集の暗闇条件下での退出実験	○三好雄介(東京大学大学院) 柳澤大地(東京大学) 西成活裕(東京大学)
15	回顧的家族調査NFRJ-16Rによるパネルデータ収集の試み	保田時男(関西大学)
16	社会階層と統制感 —社会的な不平等と社会認識の関連についての計量分析—	山口泰史(東京大学大学院・ 日本学術振興会)
17	学歴階層帰属意識の規定要因としての大学進学率と 専攻に関する検討	渡辺健太郎(大阪大学)

\*\*\*\*休憩(10分)\*\*\*\*

11:10～12:25 自由報告Ⅱ

【第3部会】数理モデルと社会理論  
司会 与謝野有紀（関西大学）

第3学舎 A201

1	影の英雄 —協力の進化を支える規範—	○山本仁志（立正大学） 岡田勇（創価大学） 内田智士（倫理研究所） 佐々木達矢（ウィーン大学）
2	権力生成装置としてのチキンゲームの多様性 —対称ゲーム分類を手掛かりに—	武藤正義（芝浦工業大学）
3	複雑系社会変革理論の新展開 —短期的地域的適用—	○嶋田一郎（東北大学） 小山富男（東北大学）

【第4部会】価値意識  
司会 大崎裕子（成蹊大学）

第3学舎 A202

1	容姿の主観的評価は客観的評価と一致するのか —自計式調査の信頼性の計量分析—	小林盾（成蹊大学）
2	気候変動を巡る意思決定に社会観の与える影響	宗像慎太郎（三菱 UFJ リサーチ &コンサルティング）
3	8か国共通の内宗教的信念の1次元の構造	渡辺光一（関東学院大学）

12:25 閉会挨拶 大会委員長 保田時男（関西大学）

第3学舎 A201

（備考）

- 印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- ベビーシッターを利用可能です。必要な方は **2月21日（火）までに** 大会事務局ご相談ください。
- 大学敷地内は全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
- 会場内での無線 LAN は、eduroam またはゲスト ID が使用可能です。ゲスト ID は当日指示します。

（変更履歴）

2017年2月9日 暫定版プログラム

2017年2月21日 大会前確定版プログラム

2017年\*月\*\*日 大会後確定版プログラム